

## 審議会等の会議の概要の記録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回甲州市障害者自立支援協議会
開 催 日 時	令和5年12月13日 午後2時00分～午後2時31分
開 催 場 所	甲州市役所本庁舎 1階 市民ギャラリー
議 題	(1) 第3次甲州市障害者総合計画中間評価(案)について (2) 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画(案)について (3) その他
出 席 委 員	木下洋和委員、早乙女修一委員、宮原健一委員、鹿野和幸委員、 矢崎繁委員、逸村一徳委員、鈴木雄人委員、久保和也委員、 石川拓巳委員、久保貞夫委員、三科英訓委員、芦沢幸子委員、 飯室智恵子委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍 聴 人 の 数	0人
審 議 概 要	別紙会議録のとおり
事務局に係る事項	出席者 福祉総合支援課6名(町田課長、河村リーダー、佐藤リーダー、姫野、 日原、北井) 子育て・福祉推進課1名(青沼)
そ の 他	

内容	発言内容・決定事項等
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）第3次甲州市障害者総合計画中間評価（案）について</p> <p>（2）第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（案）について</p>	<p>○事務局            庁内関係課で実施した第3次甲州市障害者総合計画における障害者計画の施策に係る中間評価について、事前配布資料の中間評価一覧表（案）に基づき、施策の進捗状況等の確認や今後の方向性について検討が行われた旨を説明。この中間評価を踏まえ、国の基本計画との整合も取れていることを勘案し、現行の施策を維持する考えを示した。</p> <p>&lt;質問・意見&gt;</p> <p>○三科会長            （項目1-（1）-3）甲州市障害者自立支援協議会の委員に、障害者、また、その家族を選任するという施策の評価で、知的障害者と精神障害者の当事者については選出できないということで、引き続き検討していくこということだが、これはなかなか困難なことだろうと思うが、具体的にはどうしていくのか伺いたい。</p> <p>○事務局            知的障害や精神障害をお持ちの方はこういった協議会にはなかなか参加していただけないかもしれないが、地域活動支援センターや社会福祉協議会と情報共有しながら、また、委員の皆様からご推薦でもいいと思うので、参加していただければいい方がいたらお声がけをしていきたい。</p> <p>○事務局            第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（案）（事前配布）に基づき、構成や内容について説明。活動指標の数値等については、前回の協議会から県のヒアリングを経て、内容に一部変更があった旨を説明。</p> <p>&lt;質問・意見&gt;</p> <p>○飯室委員            まず意見だが、令和8年度末の成果目標が設定されているが、その横に現状についての記載があるとどのように変化するか比較ができるため、見やすく検討しやすいと思う。</p> <p>次に質問だが、1つ目に、相談支援体制の充実・強化というところで、基</p>

幹相談支援センターの設置に努めるということだが、直営なのか委託なのか具体的にどのような形で設置していく方向性なのか伺いたい。

2つ目に、甲州市には相談支援事業所が不足しているというところが現状としてあると思うが、そういったところのニーズに応えるために事業所を増やすということはないのか。

3つ目に、障害児に対する重層的な地域支援体制の構築の部分で、中間評価でも、障害児に対する支援が不足しているということがあったが、この計画では重症心身障害児を支援する事業所の確保に努めますとある。具体的にどのような方向性で設置に向け取り組むのか伺いたい。

#### ○事務局

目標の横に現状についての記載をというご意見については、確かにそういった項目があると比較ができるので、レイアウトも含め事務局で検討させていただきたい。

ご質問の1つ目、基幹相談支援センターについて委託か直営かは、結論としてはまだ検討中であるが、現在の福祉総合支援課 相談支援担当には基幹相談センターの機能がほとんど備わっている状態である。委託できる事業所があれば、そこも含めどういった方向性で進めるか検討をしていきたい。

2つ目について、事業所は児童の事業所ということによろしいか？

#### ○飯室委員

相談支援事業所のことを伺いたい。先ほどの中間評価で、セルフプランの推進といった文言があったので、そういう方向で進めるのか、それとも相談支援をなるべく付ける方向でいくのかということ伺いたい。

#### ○事務局

障害者の意思決定を尊重していく必要があるため、セルフプランを勧めるということではなく、本人がセルフプランを希望して、(サービスの利用していく上で)問題なさそうであれば作成を支援していきたい。一方で、計画相談については、ここ最近、相談件数が障害者も障害児も非常に増えてきており、サービスの支給決定も増えている。その中で、計画相談を付けた方が良いと判断されるケースでもやむを得ずセルフプランで支給決定しているケースもある。今後、市だけでなく、県とも相談する中で社会資源の確保に努めたい。

3つ目の重症心身障害児の事業所については、現在甲州市には(放課後等デイサービスが)1箇所あるが、峡東圏域でみてもこの1箇所という状況である。ニーズはあるが、事業所の運営においていくつか課題があるということ把握している。詳細なニーズの把握と事業所の意向等のすり合わせを行う中で今後検討していきたい。

<p>(3) その他</p>	<p>○事務局  今後のスケジュールについて説明。1月上旬のパブリックコメントを実施し、2月下旬に3回目の協議会を開催し、そこで計画の最終案が承認されれば、市長へ答申を行い、3月に策定となる予定。</p> <p>○矢崎委員  視覚障害の等級は1級から6級までである。私は最初から2級だったので6級がどのくらいか分からないが、3級から6級までが車の免許を取れない状態であるとしたら、タクシー券を配布してもらいたい。実は、県内でもそういう流れになってきており、今現状ですべての級でタクシー券を配布しているのが甲斐市と富士吉田市で、残念ながら甲州市は1枚あたりの金額も最低、枚数も最低という状況。せめて圏域の中で調整してもらいたい。地域の中で差があるとよくないので、検討していただきたい。ただ、甲州市もデマンドバスなどが動いているので、そちらを減らすといった話になると、今度は高齢者の方が困ってしまうので、そこは配慮しながら進めていただきたい。</p> <p>それと、日常生活用具の給付品目の金額が30年前の金額をそのまま使っている。物が値上がりしていたり、新しいものができたりしているので、そういうものを検討する場合には、できれば当事者も一緒に加えていただきたい。常に新しいものを私も把握しているので、古い資料のまま移行するのはちょっとどうかと思う。</p> <p>○事務局  サービスに関しては今後市としても検討していきたいと思う。福祉総合支援課と子育て・福祉推進課の両課で協議しながら良い方向になるように進めていきたい。</p>
<p>3 その他</p>	<p>特になし。</p>
<p>4 閉会</p>	